



能勢分校
ホームページ



Facebook

地域魅力化クラブ
Instagramは
分校HPからご覧
いただけます。

文化祭 2025

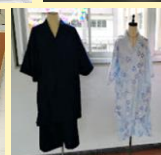
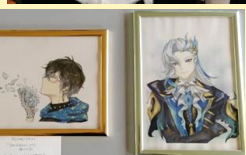
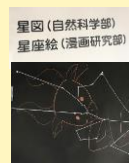
10月25日(土) 秋らしい気候の中、能勢分校の文化祭が開催されました。午前中は、教室での各学年・部活動による企画や展示発表、分校農場の生産物の販売、PTAによる恒例の能勢うまいもんマルシェなどが行われました。校舎前では農業クラブによるポン菓子の製造実演や、2・3年生による模擬店、能勢の高校を応援する会の野菜販売、横山ハム工房さんによる「黒米チキンソーセージ(本校生産物を利用)」のホットドッグ販売などが並び、多くの来場者でにぎわい大盛況となりました。中庭では軽音楽部の演奏と1年生有志メンバーによる漫才が来場者を楽しませていました。

午後からは体育館で劇や合唱などの発表、フィリピンスタディツアーや畜産ティーン研修の報告など多彩なステージ企画が続きました。生徒たちは準備や練習の成果を存分に発揮し、秋の一日を大いに盛り上げました。

また、この日に合わせて「プレ学校説明会」も開催され、能勢分校に興味を持った中学生が文化祭を体験する機会となりました。



毎年恒例！農場生産物のお出迎え！



地域とつながる実践型学習

「課題探究GSⅡ」発表！！

「課題探究GS」は、能勢分校独自の授業の一つです。知識の習得のみにとどまらず、生徒自身が社会の課題を見つけ出し、その解決に主体的に取り組む実践型の探究授業です。

今年の3年生は課題探究に1年半の時間をかけてきました。2年生後期の「課題探究GSⅠ」の授業で、課題探究に必要な「考え抜く力」「チームで働く力」「能勢・豊能地域の課題とは何か」を学び、また、3年生の授業へつながる活動の準備として、これまでに学んだ地域課題や先輩方の学びを踏まえ、各チームがテーマを絞り、解決策を模索してきました。

そして、3年生となり「課題探究GSⅡ」では、学外調査やイベントの企画・運営・参加、高校生目線での情報発信、役場への提案など、1年の時間をかけて課題探究を深めました。

食農流通コースの3チームが「鶏肉ソーセージ」「チキントラクター(移動式鶏小屋)」「能勢栗」について、里山起業コース・対人支援コースの各1チームが「能勢町かるた」「芸術文化祭の企画提案・運営・参加」について、探究コースの2チームが「公共交通機関の観光客利用」「分校生を増やすには？」など、7つのテーマで課題探究を進めています。

12月24日(水)、浄るりシアター大ホールにてこの探究学習の集大成を、発表します！生徒たちの活動の成果を是非ご覧ください。

コース	テーマ(仮)
食農流通	能勢分校農場から魅力発信 ～特産品開発で地域活性化～
	チキトラ大作戦！
	能勢栗の魅力発信
里山起業	のせのたねプロジェクト ～のせを知ってもらうために～
対人支援	大阪のてっぺん元気にしよう計画 ～人の流れを能勢に～
探究	歩いて学ぶ能勢の魅力
	増やせ！のせ校生

課題探究GS最終発表会

日時：12月24日(水)
9時30分～
場所：浄るりシアター
大ホール



国際交流を通じた地域課題探究の実践 ～フィリピンスタディーツアー2025～

ルソン島北西部のアブラ州へ。環境や農業について学び、能勢・豊能の地域課題探究につなげる能勢分校オリジナルのスタディーツアーです。



国立アブラ大学バンゲットキャンパス



南イロコス州カプガオ市長表敬訪問

夏休み期間中の8月4日(月)～10日(日)、7期生7名が、6泊7日のフィリピンスタディーツアーへ行きました。初日に搭乗便が欠航するというハプニングがあり、空港で10時間以上待機。深夜にマニラへ到着後、陸路でオイスカアブラ研修センターへ向かいました。

翌日は11時間遅れでのプログラム開始となりましたが、国立アブラ大学バンゲットキャンパスで現地の高校生・大学生と交流し、民族舞踊やレクリエーション、能勢の紹介プレゼンも大成功。地元の軽食を囲んで笑顔があふれました。

日程	訪問場所
8月4日	関西国際空港→マニラ→アブラ州
5日	国立アブラ大学バンゲットキャンパス
6日	国立アブラ大学ラガランキャンパス、オイスカアブラ研修センター、
7日	南イロコス州カプガオ市長表敬訪問、私邸訪問 マングローブの植林、世界遺産観光
8日	ナラの苗木の植林、マーケット見学、フェアウェルパーティー
9・10日	アブラ州→マニラ(ショッピング)→関西国際空港



マングローブ植林



ナラの苗木植林

3日目は国立アブラ大学ラガランキャンパスで森林保全や竹の加工についての講義を受け、竹林や加工場を見学。オイスカアブラ研修センターに戻り、サトウキビから砂糖を製造する貴重なプロセスを体験しました。4日目は南イロコス州カプガオ市の市長の私邸を表敬訪問しました。その後、海でのマングローブの植林について学び、津波対策や海の生態系保護のために一本一本丁寧に植林を行いました。活動後は世界遺産ヴィガンの街並みも観光し、充実した1日となりました。5日目は山でナラの苗木の植林を学びました。厳しい暑さの中、アブラ大学の学生やオイスカアブラ研修センターの研修生たちと力を合わせて作業をしました。フィリピンは森林伐採によって緑が失われた過去の歴史があり、現在は地道な植林によって緑を取り戻しつつあります。生徒たちは研修を通して両面を学びました。その後、地元マーケットの見学やバンゲットの街の高台からの景色も楽しみ、夜はフェアウェルパーティーに参加。サプライズでツアー修了証をいただき、生徒たちは喜んでいました。最終日は朝4時からマニラへ移動し、ショッピングを楽しんで帰国。初日にトラブルはありましたが、体調不良者もなく、笑顔も学びもいっぱい7日間となりました。



国立アブラ大学バンゲットキャンパス



フェアウェルパーティー

スタディーツアー報告会

9月12日(金)、(株)能勢・豊能まちづくりが主催する「能勢豊能みらい会議」に参加し、フィリピンスタディーツアーの報告を行いました。

フィリピンで学んだ現地の植林についてのシステム「ラパットシステム」を紹介しました。フィリピンでは、過去に、環境資源を使い尽くすことで経済が運用されてきました。しかし、その自然破壊を反省し、環境資源を保護しながら循環させ、持続的に利用していこうという考え方が生まれました。これを条例などで制度化し、広く周知していくのが「ラパットシステム」です。現地で実際に学び、現地の人たちとともに体験してきた研修内容の発表はとても聞きごたえのあるものとなりました。参加者からも積極的な質問が寄せられ、活発な質疑応答が行われました。

フィリピンスタディーツアーは公益財団法人オイスカとの連携と、株式会社能勢・豊能まちづくりからの寄付金の活用によって活動しています。



能勢町×能勢分校連携公開講座 『能勢分校における交通課題への取組と市民性教育について』



9月9日(火)、E-bikeプロジェクトでお世話になった東京大学大学院 教授 北村友人氏をお招きし、能勢町との連携公開講座を開催しました。1年生を対象に、自転車についての基本的なルールや、能勢町における交通課題とこれまでの地域魅力化クラブとの活動内容についてお話いただきました。

講義では、課題探究を進めるために重要な考え方として、「現状調査」「課題発見」「解決策の考案」「実行」「再調査」といったトライアンドエラーのプロセスを繰り返すことが、課題解決において効果的であると教授いただきました。このような探究的な学びの姿勢は、地域の課題に向き合ううえで非常に大切であり、今後の活動にも活かせる内容でした。また、先輩方が活用しているE-bikeの背景や目的についても理解が深まり、能勢町が抱える交通の課題について考える良いきっかけとなりました。



東京大学大学院 教授
講師：北村 友人 氏

慶應義塾大学文学部人間関係学科を卒業後、米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校教育学大学院修士・博士課程修了。国連教育科学文化機関（UNESCO）に勤務後、名古屋大学をはじめ、数多くの大学において教鞭をふるわれ、グローバル時代の教育に関するさまざまな研究に取り組まれている。現在、能勢分校と連携し、国際交通安全学会（IATSS）の「中山間エリアの高校における交通課題解決のための教育活動」プロジェクトを展開中。



農場だより

実りの秋。ブドウやクリの収穫、黒米の稲刈り、生産物の加工、販売実習、冬野菜の準備などなど…農場は秋も大忙しです！！



ホストファミリーと一緒に



牛の直腸検査を体験！



研修修了証を受取りました

【海外研修@オーストラリア】

国際農業者交流協会（JAEC）主催の、畜産業の未来人材の育成を目指す海外研修プログラム「畜産ティーン育成プロジェクト」に3年生 大坪樹季さんが選ばれ、夏休み中の約10日間、放牧が盛んなオーストラリア・クィーンズランド州で畜産業を学んできました！現地では一般家庭にファームステイし、現地の畜産業を見学・体験しました。帰国後は畜産アンバサダーとして普及活動に取り組むこととなり、研修で学んだことをまとめ、文化祭などで実践報告しました。日本とオーストラリアの畜産の違いに触れ、ますます牛が好きになったそうです！

【JA大阪北部：親と子の食農体験学習】



9月13日（土）、JA大阪北部「親と子の食農体験プログラム」が能勢分校農場で行われました。食農流通コースの生徒20名が出迎え、全体の運営や体験の指導なども担当しました。ブドウ園では収穫したブドウをパック詰めしたり、養蜂体験では防護服を着てミツバチを観察した後、巣枠からハチミツを搾り、ガラス瓶に詰めました。養蜂場では飛び回るミツバチにドキドキしながら、巣枠からぎっしり詰まったハチミツを直接味見すると、そのおいしさに思わず笑顔もこぼれ、分校農場での秋の一日を満喫してもらうことができました。



J A親と子の食農体験学習

【農業クラブ 全国大会西関東大会】

3年生 大坪樹季さん 意見発表会 優秀賞受賞！！

10月21(火)～23日(木)、農業クラブ全国大会西関東大会が開催されました。山梨県立農林高等学校での農業鑑定会には2年生 山野さんが、神奈川県立相原高等学校での意見発表会には、3年生 大坪樹季さんが出場しました。大坪さんは大阪府大会・近畿大会を勝ち抜き、全国大会で「アニマルウェルフェアは綺麗事か～里山放牧で目ざす動物福祉と経済性の両立～」をテーマに、学んだこと、経験したことを踏まえ、動物に対する愛情と家畜を地域活性化に活用する意見を発表し、見事優秀賞をいただきました。分校の文化祭では准校長より賞状と花束が手渡され、会場からも温かい拍手が送られました。



農業クラブ 全国大会



能勢・豊能地域学校連携・一貫教育



先輩が語る@ささゆり学園



農業授業体験会@分校農場

能勢町では「小中高一貫教育」を柱に、「能勢の宝である子どもたちを、学校・家庭・地域・行政が一体となって育てよう」という思いのもと、地域ぐるみの連携・一貫教育を進めています。毎年、年度初めには町内の先生方が一堂に会する「小中高一貫教育総会」が開かれ、夏には教職員が共に学び合う合同研修も実施されています。高校の先生が地域の学校で授業を行う「出前授業」や、生徒が能勢分校を訪れて授業を体験する「分校体験会」などを通じて、子どもたちは進路について考えるきっかけを得ています。

また、「SDGsフェスタ」などの生徒交流イベントでは、生徒たちが学校の枠を越えて地域で関わり合う機会が生まれています。高校生が分校の農場で小中学生に教えたり、ささゆり学園を訪れて行う「先輩が語る」といった交流授業では、児童・生徒同士のつながりも深まっています。

こうした取り組みを通じて、能勢分校の魅力や独自性を、より多くの方に知っていただけたら嬉しく思います。

ご存知
ですか？

能勢町 教育長だより

能勢町HPの教育委員会のページにて、辻教育長が「教育長だより」と題して、能勢町の教育について発信をしておられます。Vol.4は能勢分校についての掲載がありました。是非ご一読ください。

⇒「能勢町 教育長だより」で検索

https://www.town.nose.osaka.jp/material/files/group/29/nose_kyouikutyou_dayori_vol4.pdf

のせの教育の魅力を伝えていきます

教育長だより Vol.1

4

2025
April

文責 辻 新造

きょう いく ちょう おすすめ のせのまち シリーズ1

【能勢町 生涯学習センター図書室の魅力】

#能勢のまちの魅力をこれから紹介していきます

●能勢のまちは魅力がいっぱいです。能勢町で行ってみたい場所や知りたいことがらを教育長が「今日行く（きょういく）とよい（町（ちょう）」のおススメする「能勢のあれこれ」をシリーズで紹介していこうと思います。



ブルガリアから留学生が来ました



10月6日(月)から31日(金)までの約1ヵ月、ブルガリアからの留学生 Milushev, Ivan(イワン)さんが、能勢町内でホームステイをしながら1年生のクラスで学校生活を送りました。

母語はブルガリア語ですが、英語に加えて独学で習得した日本語がとても上手で、家庭科部では文化祭に向けて甚平を制作しました。洋裁は洋服を自作するほどの腕前で、将来は日本のトラウザーで働くことを目指しています！教頭先生からお箏や三線などの和楽器を教わったり、茶道部では初めての茶道に挑戦し、日本の「間」の美意識に感動したそうです。たくさんさんの日本語ボランティアの方にもご指導いただきました。

また日本で会えることを願っています！夢が叶うといいですね。

イワンさんからのメッセージ

私は日本文化にとっても興味があり、株式会社明治のご支援でAFSの交換留学プログラムに参加し、能勢分校に来ることができました。涌泉寺の山口さんの家にホームステイをしており、毎日とても楽しく過ごしています。学校では家庭科部と弓道部に入り、茶道にも挑戦しました。また、箏と三線のレッスンも受けていて、とても面白いです。滞在中に日本語のレベルも上がり、会話がもっと楽しくなりました。

先生方には、ボランティアでもたくさん助けていただき、本当に感謝しています。先生方から多くのことを学ぶことができました。日本の自然や食べ物、人の優しさに毎日感動しています。山口さんの家族や学校の友達に心から感謝しています。



留学生ホストファミリー&サポートメンバー募集

本校では、毎年長期・短期留学生の受入れを行っています。ホストファミリーまたはホストファミリーのサポートをしてくれる方を募集しています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

連絡先：豊中高校能勢分校

☎ 072-737-0666

国際交流担当：田中 or 磯田

toyonaka-noseb-hs@gedu.pref-osaka.ed.jp